

【ショートボードメン】

2017 映像問題 解説

各ライディングの解説

R 1(WHT 2本目) 1.0 P

プルアウト。

R 2(WHT 3本目) 4.5 A

パワーには欠けるが、コントロールされた2マニューバー。

R 3(RED 1本目) 7.0 G

フローのある2ターン。2ndターンは、クリティカルなセクションへ、ボトムからコミットメントのあるアプローチ。スピード、パワー、コミットメントを伴っているグッドライディング。

R 4(YEL 1本目) 6.0 G

コントロールされた4マニューバー。波も厚く、REDの1本目に比べるとパワー、コミットメントに欠ける為、同じスコアリングカテゴリーの中での下の評価。

R 5(BLU 1本目) 1.5 P

ボトムからアプローチではあったが、インコンプリートマニューバー。

R 6(YEL 2本目) 5.0 A

波に合わせた3マニューバー。アベレージの評価。

R 7(WHT 4本目) 2.0 F

レールを使ったターンではあったが、波も厚くなり、インコンプリートマニューバー。

R 8(RED 2本目) 3.5 F

WHT1本目(3.0)と比較すると、ボトムからタテへのアプローチがあり、やや上の評価となる。

R 9(WHT 5本目) 9.0 E

スピード、パワー、フロー、コミットメントとジャッジクライテリア全てにあてはまるエクセレントライディング。

R 10(RED 3本目) 0.8 P

ボトムに降りきれず、プルアウト。